

代表質問

清風会

竹内 清海 片岡きょうこ

石原みさ子 青山 博一

松井 努

武蔵野線沿線のまちづくり

問 武蔵野線沿線のまちづくりについては、商業施設が立地する土地利用構想があるとのことだが、大学や研究所、あるいは保育士・介護福祉士を養成する専門学校等の施設を誘致するほ

うが、将来の長きにわたり学生や研究者が通うことになり、また、周辺の緑多い環境と調和して文教都市い

ちかわに相応しいまちになると考える。このことについて、市の認識を問う。

答 新たなまちづくりの土地利用については、平成27年度に市と権利者との共同作業であるワークショップを開催し、地域に必要な施設やまちの将来像を示した土地利用方針図を作成して

外国語教育

問 平成32年度に新学習指導要領が全面実施される。これを踏まえた30年4月からの移行期間において、小

学校の外国語教育の授業時間数はどのように変わるのか。また、小学校外国語活動推進事業ではどのような取り組みを行っているのか。

答 30年度は、小学校3・4年生で新たに外国語の授業を週1時間実施すると共に、5・6年生ではこれまでの週1時間の授業を週2

時間とする。また、小学校外国語活動推進事業は、英語に堪能な社会人など地域の優れた人材を外国語活動指導員として配置し、担任



小学校での英語の授業(鶴指小)

聴覚障がい者の支援

問 手話の普及を目的とした「手話言語条例」を制定する自治体が増えてきている。現在、市川市では残念ながら手話言語条例は制定されていないが、条例のない本市でもできることがあるのではないかと考える。聴覚障がい者に対する支援について、市は今後のような方向性を持っているか。

このチームティーチングを行うことで充実した外国語教育を目指しているものである。外国語活動指導員は現在、5・6年生の授業を担当しているが、30年度からは新たに3・4年生の授業にも配置できるように予算計上を行った。現在の指導員13名と新たに内定した23名、合わせて36名の体制で事業を進めていきたい。

創生市川第2

松永 修巳

金子 正

鈴木 雅斗

クリーンセンター

問 次期クリーンセンターの建設計画が進められているが、煙突に市川市と分かるものを整備してPRすることはできないか。また、現クリーンセンターには小動物の火葬炉という近隣市

にはない設備があるが、この火葬炉について市民からどのような意見があるか。

答 次期クリーンセンターのような大規模建築物は、景観上の配慮から周辺環境との調和を図る必要があることから、千葉県環境影響評価委員会や景観審議会等における有識者の意見を踏まえ検討していく。また、

地域猫活動

問 本市における地域猫活動において、登録団体には猫の不妊等手術費が補助されるが、煩雑な団体登録手続きを簡素化できないか。また、不要となったペット用品を寄付してもらい、猫の里親活動の支援の一環として貸与、供与する「ペットアイテムバンク」の設立について、市の見解を問う。さらに、猫の不妊等手術費

小動物火葬に対する市民の意見や感想としては、お礼の言葉や好意的な意見が多く、全国に誇れる事業の1つと自負している。

の助成に関して、市内病院の利用はどの程度あるか。

答 地域猫活動団体の登録手続きについては、平成29年度に要件の緩和と提出書類の様式変更等、活動団体の視点に立ち要綱の見直しを行った。「ペットアイテムバンク」の創設は里親支援の他、災害時においても有効であると考えられ、今後アンケート調査を通じて必要性を確認していく。不妊等手術の助成に関しては、28年度実績で市内病院での手術が14%、市外が86%である。市内手術の実績向上には市内手術への助成金額の上乗せが有効であり、総合的な見地から判断する。



人も猫も住みやすい街に



市川市役所仮本庁舎

市民の力

石原よしのり

市長不在と職務代理者

問 平成29年11月執行の市長選では当選者が決まらず、市長不在の事態が続いている。このような状況の中、公選職でない副市長による職務代理の下で、起こりうる事件、事故及び災害に対する

処でできるのか。また、人事異動を適切に行えるのか。

答 市長が不在でも、市長の職務代理者である副市長の指揮の下、事件、事故、災害への対応や人事異動等もしっかりととした仕組みの中で適切に行い、市政の停滞や市民生活に影響のないよう着実に進めていく。

答 市は今後の方向性として、現在行われている公民館主催の市民向け手話教室等の拡大を含め、さらに手話を学ぶ機会が増えるよう関係機関にも働きかけを行

うことを考えている。また、聴覚障がい者が様々な媒体を利用して、円滑な意思疎通ができるよう、環境づくりに努めていきたい。